



SANDEN

Delivering Excellence



第89期 中間報告書

平成26年4月1日▶平成26年9月30日

Contents

1	ごあいさつ	7	決算ハイライト (連結)
3	事業紹介	8	連結財務諸表
4	セグメント別概況	10	株式の状況/会社概要
5	TOPICS		株式についてのご案内

ごあいさつ

環境先進製品の開発を通じて 新たな価値創造に取り組んでまいります。



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第89期中間報告書（平成26年4月1日から平成26年9月1日）をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当期は、米国の景気回復、中国の景気拡大が継続した一方、欧州での足踏み状態が続き、東南アジア諸国をはじめとする新興国も成長率の鈍化が見られました。

このような事業環境の中、中期の重点戦略である「環境技術を軸とした売上成長」「体質改革による事業競争力強化」「経営システム改革による経営革新」に、全社一丸となり成果実現に向け取り組んでまいりました。

売上高は、顧客の成長戦略に適応した製品・システム・サービスの提案・提供により、顧客の信頼を獲得し、流通システムを中心に大型ビジネスの継続受注により増収となりました。利益については、増収効果に加え、継続的なコスト削減、および現地生産化・内製化等の体質改革活動の効果により増益となりました。

以上の結果、売上高は154,866百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益4,965百万円（前年同期比588.4%増）、経常利益5,957百万円（前年同期比690.0%増）、四半期純利益3,985百万円（前年同期比525.8%増）となりました。

今後も引き続き、当社の強みである「グローバル力」「品質力」「環境をコアにした開発・モノづくり力」を基軸に、自然冷媒であるCO₂を積極的に活用した差別化商品等による売上成長と企業体質の強化を推し進め、皆様のご期待にお応えしてまいります。

持株会社体制への移行の目的

1

グローバル経営機能の強化

持株会社は、全社最適な経営戦略の企画および立案と経営資源の最適配分を実現します。

2

事業競争力の強化

各事業会社については、責任・権限の明確化や意思決定のスピード化および事業環境に適した機動的な業務執行により、新たな顧客価値を創造していきます。

3

新商品開発力の強化

戦略的なグループ経営資源の配分を行い、新事業領域の拡大に向けた商品開発を加速していきます。

4

グループ経営効率の追求

グループ全体の共通機能を集約し、専門機能の高度化および業務の効率化を図ります。

また、当社グループは、今後のグローバル成長を実現していくため、平成27年4月をもって持株会社体制へと移行いたします。「グローバル経営機能の強化」「事業競争力の強化」「新商品開発力の強化」「グループ経営効率の追求」の4つを目的として、企業価値の最大化を目指してまいります。

皆様におかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役社長 山本満也

サンデンには、事業として3つの柱があります。
サンデングループのすべての事業が「環境」をコアに事業活動を行っています。

自動車機器事業



外部制御コンプレッサー



電動コンプレッサー



小型HVACユニット

世界中の自動車メーカーや農機・建機メーカーに、カーエアコンシステム、コンプレッサーおよび熱交換器類のコンポーネントを開発・生産・供給をしています。

コンプレッサーシェアは25%を保持し、世界の一流自動車メーカーに、当社のコンプレッサーが採用されています。

環境技術のリーディングカンパニーとして、ハイブリッド車・電動自動車への対応や、省エネ・低燃費の環境製品の開発に取り組んでいます。

流通システム事業



CO₂ノンフロン
HOT&COLD
オープンショーケース



ファッションブル
アイスクリームケース



LED CO₂ノンフロン
ヒートポンプ自動販売機

飲料や食品などの自動販売機やコンビニエンスストアなどで使われている冷凍・冷蔵ショーケースを開発、生産、販売しています。2014年に発売した次世代ヒートポンプ自動販売機（通称ウルトラエコアクティブ機）は、業界ナンバーワンの省エネルギーを実現しました。

冷凍・冷蔵ショーケースも、環境に優しいCO₂冷媒を使用しています。機器の導入や工事、メンテナンスや整備、再利用についても他に先駆けて取り組んでいます。

その他の事業



無線通信モデム



エコキュート



CO₂ヒートポンプ
温湯暖房機

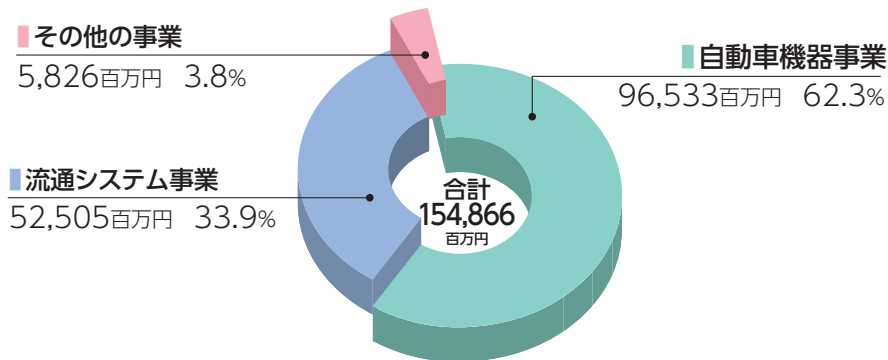


空気の熱を利用するCO₂ヒートポンプ式給湯機「エコキュート」やCO₂ヒートポンプ温湯暖房機の開発、生産、販売をしています。

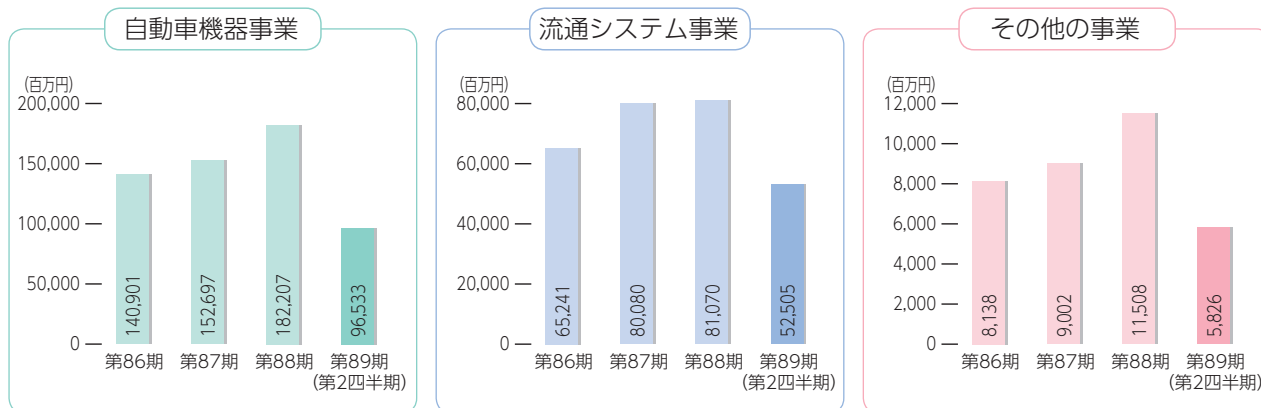
CO₂ヒートポンプシステム製品は、2010年よりオーストラリア、ヨーロッパ市場に対し供給を開始、特に環境製品が高まるヨーロッパ市場に向けて、フランスに営業拠点を設けるなど、給湯・暖房の省エネシステムの事業展開に取り組んでいます。

また、様々な業界での活用が期待される無線通信モデムなどICT関連事業も行っています。

■セグメント別売上高構成比



■セグメント別売上高推移



当社の強みである環境技術を活かしたコンプレッサーの新規商権獲得等により、売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益については、技術開発投資を積極的に行いましたが、増収効果に加え、コスト削減および生産性改善効果により、前年同期に比べ増益となりました。

店舗システム事業においては、環境の変化に適応した店づくりの提案・提供を通して顧客の成長戦略に貢献し、ビジネスを拡大することができました。ペンディングシステム事業においては、CO₂ヒートポンプ自販機の展開と新規領域の拡大を図りました。結果、売上高は前年同期に比べ増収、増益となりました。

自然冷媒CO₂を使用したヒートポンプ式給湯機（エコキュート）の国内販売促進、および欧州やアジアでの海外展開を推進し、独自の技術開発を進めるため積極投資を継続し、新たな事業領域の拡大に取り組んでいます。



新営業拠点をフランスに開設し、環境事業を加速

7月1日、欧州における環境対応事業を拡大させるため、100%出資の英国子会社サンデン・インターナショナル・ヨーロッパ (Sanden International (Europe) Ltd.) の新たな拠点として、サンデン・エンバイロメンタル・ソリューションズ (Sanden Environmental Solutions) をフランスのレンヌに開設し、営業を開始しました。

今後、日本・欧州の2拠点を軸として、自然冷媒 (CO₂) を用いたデバイスをはじめ、モジュール・システム商品およびサービスなどの環境事業においてグローバル展開を加速させてまいります。

サンデンフォレスト「環境教育等における体験の機会の場」認定

サンデンフォレスト・赤城事業所は、8月11日、群馬県内では初めて、「環境教育等における体験の機会の場」として認定を受けました。

サンデンフォレストは、2014年3月に、SEGES (シージェス: Social & Environmental Green Evaluation System: 社会・環境貢献緑地評価システム) のSUPERLATIVEステージという最高位に認定 (国内7例目) される他、OECD (経済協力開発機構) で「自然と調和したものづくりの好事例」として紹介されるなど、「生物多様性」に配慮した森づくり、サンデンフォレストを使っの社会活動などが世界で評価されています。



ユネスコ世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を支援

サンデンは、ユネスコ世界文化遺産である「富岡製糸場と絹産業遺産群」を支援するため、埼玉県本庄市に所有するサンデンコミュニケーションプラザに特定非営利活動法人 (NPO) の事務局を設置いたしました。

世界遺産の田島弥平旧宅近くにあるサンデンコミュニケーションプラザは、約80名の宿泊が可能で、また250名を収容できるホール、大小の研修室や食堂を備えています。このサンデンコミュニケーションプラザを世界遺産に訪れるお客様へのガイダンスセンターとして、また地域ボランティアガイドの養成にご利用いただいています。

海外各地で展示会を開催



4月8日～10日、サンデン・ベンダー・アメリカは、シカゴ最大の自動販売機展示会NAMA OneShowにコーヒーサーバー、オープンショーケースを出展しました。



5月20日～22日、サンデン・インターナショナル・オーストラリアは、メルボルンで開催されたARBSショーにエコキュートを出展しました。



8月27日～30日、サンデン・インターナショナル・台湾は、台北国際物流展に投入式コンテナ、蓄冷剤急速冷凍庫、保冷ボックスを出展しました。

ふおれすとやまの一年

サンデンフォレスト・赤城事業所は、環境製品を生産・販売すると共に、工場周囲の森・里山の維持活動を行っています。

その一環として4月から「ふおれすとやまの一年」をスタート。

サンデンフォレストの森を「ふおれすとやま」とし、森の手入れ、山仕事を楽しく行うことを通じて「やまと暮らしのつながり」を体感していただいています。

4/29 (祝・火)	【春の山仕事】ほって食べよう！ たけのこほり	たけのこシーズン到来！ ほる楽しみ、食べる楽しみを味わおう。
6/14 (土)	【初夏の山仕事】 草刈り隊&梅しごと	草がぐんぐん伸び、桑の実や木苺もたくさん！ 梅雨は梅の季節でもあります。梅ジュースや梅干しを仕込みましょう。
7/19 (土)	【土用の山仕事】 草刈り隊&流しそうめん	竹林から竹を切り出し、流しそうめんをします。 草刈り後の、のどごし!?は気持ちいい～。
9/23 (祝・火)	【秋分の山仕事】 森のベンチをつくらう	森の中に設置するベンチを手づくりしましょう。 もちろん、ベンチには作者の名前を刻みます。

CSR報告書、アニュアルレポート発行のお知らせ

CSR報告書、アニュアルレポートが出来上がりました。ホームページでご覧いただけます。



CSR報告書

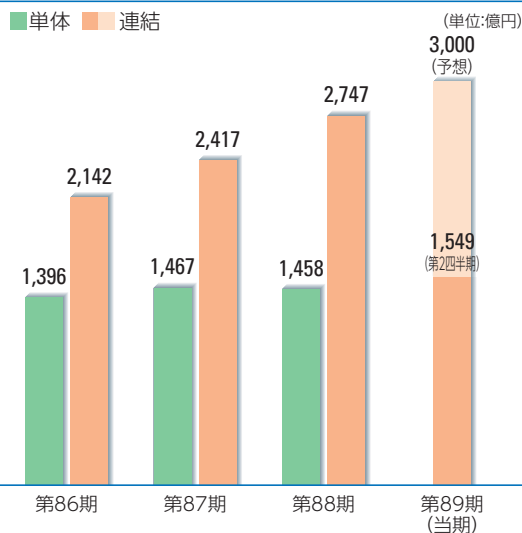


アニュアルレポート

- CSR報告書
<http://www.sanden.co.jp/environment/index.html>
- アニュアルレポート
<http://www.sanden.co.jp/ir/document/annual.html>

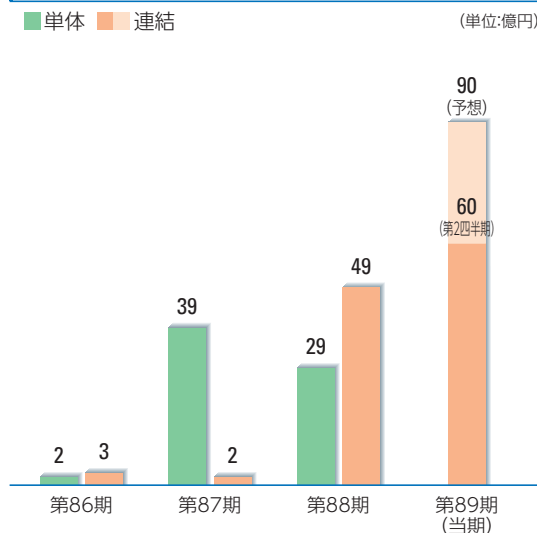
売上高

1,549億円 (連結)



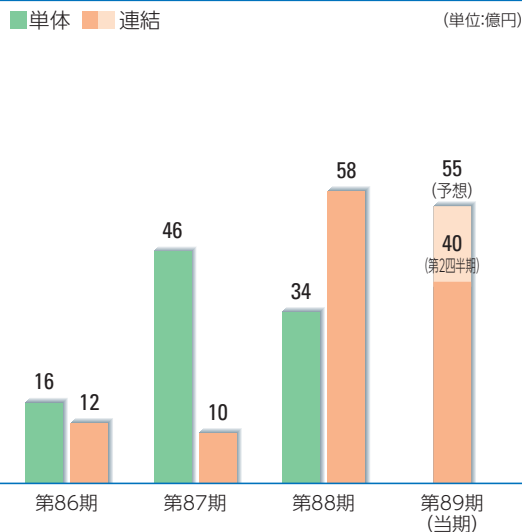
経常利益

60億円 (連結)



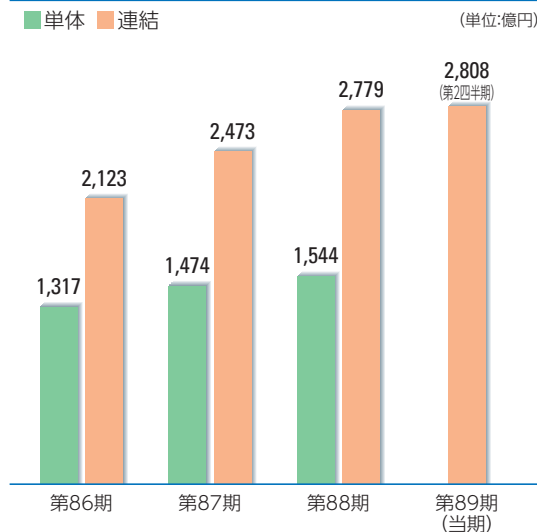
当期純利益

40億円 (連結)



総資産

2,808億円 (連結)



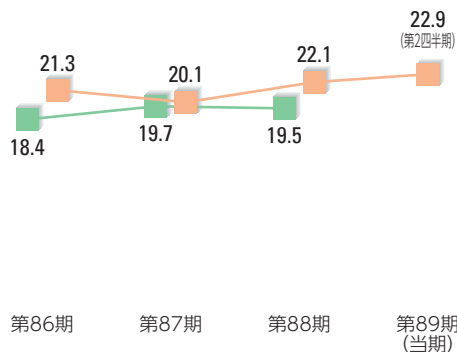
(注)「総資産」「自己資本比率」の予想は公表しておりません。

自己資本比率

22.9% (連結)

■ 単体 ■ 連結

(単位:%)

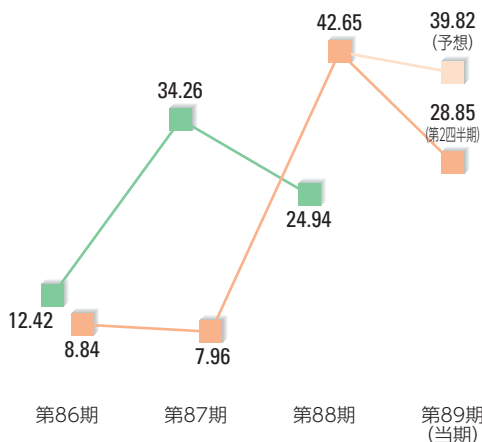


1株当たりの当期純利益

28.85円 (連結)

■ 単体 ■ 連結

(単位:円)



第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	159,945	160,122
固定資産	120,810	117,798
有形固定資産	88,994	88,681
無形固定資産	4,284	4,250
投資その他の資産	27,531	24,866
資産合計	280,756	277,920
●負債の部		
流動負債	141,269	136,563
固定負債	71,259	75,705
負債合計	212,529	212,269
●純資産の部		
株主資本	61,146	58,553
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	4,453	4,453
利益剰余金	46,841	44,239
自己株式	△ 1,186	△ 1,178
その他の包括利益累計額	3,043	2,738
その他有価証券評価差額金	3,171	2,532
繰延ヘッジ損益	△ 64	△ 22
為替換算調整勘定	789	807
退職給付に係る調整累計額	△ 852	△ 579
少数株主持分	4,036	4,359
純資産合計	68,226	65,651
負債純資産合計	280,756	277,920

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
売上高	154,866	132,482
売上原価	125,007	110,397
売上総利益	29,859	22,084
販売費及び一般管理費	24,893	21,363
営業利益	4,965	721
営業外収益	2,783	1,787
受取利息	8	37
受取配当金	99	95
為替差益	634	—
持分法による投資利益	1,457	1,245
その他	583	409
営業外費用	1,790	1,755
支払利息	1,367	1,209
為替差損	—	384
その他	423	160
経常利益	5,957	754
特別利益	65	31
特別損失	794	141
税金等調整前四半期純利益	5,229	644
法人税等合計	994	262
少数株主損益調整前四半期純利益	4,235	381
少数株主利益又は少数株主損失	249	△ 255
四半期純利益	3,985	636

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計	前第2四半期累計
	平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,995	10,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,858	△ 6,669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,166	△ 4,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 39	527
現金及び現金同等物の増減額	931	117
現金及び現金同等物の期首残高	19,078	19,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,009	20,079

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

- 発行可能株式総数 396,000,000株
- 発行済株式総数 140,331,565株
- 株主数 8,455名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	11,216千株	8.1%
サンデン取引先持株会	6,933	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,577	4.7
株式会社みずほ銀行	5,088	3.7
株式会社群馬銀行	5,087	3.7
サンデン従業員持株会	3,764	2.7
大同生命保険株式会社	3,471	2.5
牛久保智昭	2,771	2.0
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	2,351	1.7
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	2,070	1.5

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

商号	サンデン株式会社
東京本社	東京都台東区台東一丁目31番7号 TEL. 03-3833-1211
本社	群馬県伊勢崎市寿町20番地 TEL. 0270-24-1211
設立	昭和18年7月30日
資本金	11,037百万円

役員

代表取締役会長	牛久保 雅 美	常勤監査役	大 谷 貴 士
代表取締役副会長	早 川 芳 正	監 査 役	土 金 琢 治**
代表取締役社長	山 本 満 也	監 査 役	杉 田 義 明**
専務取締役	高 橋 貢	監 査 役	江 前 公 秀**
専務取締役	Mark Ulfing		
常務取締役	西 勝 也		
取締役	多 田 勇 夫		
取締役	尾 崎 英 外*		

*…社外取締役 **…社外監査役

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	1,000株
公告方法	当社のホームページ < http://www.sanden.co.jp >に掲載する。 ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および上毛新聞に掲載する。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届けおよびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

皆様の声をお聞かせください

当社では、皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URL にアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6444

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用の URL が直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

